

歴史博物館が

誕生



景勝の地「歩崎」に位置し三層のお城をイメージした建物「かすみがうら市郷土資料館」。昭和62年の開館以来、長い間多くの方々に親しまれてきました。このたび、開館30年となる平成29年1月1日からは「かすみがうら市歴史博物館」に生まれ変わります。



郷土資料館から歴史博物館へ

かすみがうら市郷土資料館は、昭和62年4月4日に「出島村郷土資料館」として開館しました。急速に変化する地域社会の中で、先人が築いてきた歴史や文化を守り伝えていくことを村民の声により造られた教育施設です。開館以来住民の方々から寄贈される歴史・民俗資料、各種調査による歴史資料の収集事業、地域の魅力ある歴史資源を扱った特別展・企画展などの展示事業、その他各種講座や体験教室などのふれあいを教育事業を地道に実施してきたことが評価され、茨城県教育委員会から「博物館」に登録されました。

歴史博物館の見どころ紹介！

櫓形展示棟(三重4階建て)

【1階…水とみどりのドラマ】

帆引き船(3分の2スケールの模型)があります。模型といっても船大工が制作した帆引き船のため、素材や細部の様子は実物そのものです。その他多くの漁具・道具類が展示されており、霞ヶ浦漁業の様子が学習できます。



【2階…郷土のへらこ】

展示されている、蓮掘り万能はし(しん)を掘り出す際に使用される農具です。畑で使用する万能と違い、しん

役を終えた後に観光帆引き船にも使用された船が2艘(市指定文化財)、観光帆引き船として平成26年まで使用されていた船が1艘公開されています。その迫力あふれる姿をご覧ください。



ご利用案内

入館料金

一般2100円、小中学生1000円、一般団体1500円、小中学生団体500円
 ※団体料金は20人以上からとなります。
 ※小学生未満は無料です。
 ※お得な市水族館との共通入場券もあります。詳しくはお問い合わせください。

開館時間

午前9時～午後4時半

休館日

月曜日(年末年始12月28日～1月1日)
 ※祝日が月曜日と重なる場合は開館し、翌日の火曜日が休館となります。

今後の活動にご期待ください！

歴史博物館では、本市の魅力ある貴重な歴史資料などを基に、活発な事業展開を計画しています。この新たな出発に注目していただくと共に、一緒にこの博物館を盛り上げていきましょう！

郷土資料館 ☎090(886)0017

筑波山地域ジオパーク

つくば市、石岡市、笠間市、桜川市、土浦市、かすみがうら市の6市からなる筑波山地域ジオパークが、9月9日に日本ジオパークに登録。地域の価値を再発見することで住む人が地域を好きになり、訪れる方にも好きになってもらえる「みんなに愛される地域づくり」を進め、地域の活性化につなげていきます。

かすみがうら市ジオパーク



「関東平野に抱かれた山と湖」自然と人をつなぐ「石・土・水」がテーマの筑波山地域ジオパーク。本市にはこれらを具体的に紹介する4つのジオサイトがあります。

歩崎

歩崎観音の表参道の階段両側の地層は、下から約13万年～12万年前にこの場所が海であったことを示す地層として海から川へ変化したことを示す地層が連続してみられる貴重な場所です。



崎浜・川尻

約13万年～12万年前にこの場所が海だった頃、カキ礁が形成されていたことを示す地層がみられます。このカキの化石層を約13000年前の古墳時代後期に



閑居山・権現台

閑居山の中腹には花崗岩の露頭に彫られた数多くの地蔵や観音像があり、このような磨崖仏は周辺ではみられないことに加え、貴重なものとなっています。権現山も山頂部を中心に花崗岩の露頭があり、これら花崗岩が形成される急峻な地形を利用して権現山城が築城されました。ここからの恋瀬川や霞ヶ浦を望む景観は圧巻です。



雷入りの山

現在は、採石場跡地を利用してネイチャーセンターや自然公園が整備されています。周辺からは、貴重な鉱物が発見されており注目されています。また、豊かな動植物などの生態系がみられ、ハイキングや観察会などが楽しめます。



市では今後、このジオサイトを扱った事業を実施し、環境保全や教育普及、地域活性化に向けて活動していきたいと考えております。市民の皆さんも、ジオパーク事業への理解・ご支援をお願いいたします。

歴史博物館誕生 記念特別展を開催！

◎「細野冉兵衛と天童一揆」

細野冉兵衛は深谷村に生まれ、土浦藩領東郷組(土浦市東部からそれに東接する旧出島村の一部の地域)の惣名主として村政に手腕をふるいました。農民たちを思いやり地域の振興に自らの財産を投げ打って取り組む懸命な姿に多くの人から慕われた人物です。

今回の特別展では、冉兵衛が東北最大級の江戸時代の農民一揆「天童一揆」を徳をもって鎮圧したことや本市の農民一揆「坂村騒動」での困窮する農民の立場に立つて正義を貫いた様子を中心に紹介します。

現在も語り継がれる細野冉兵衛の「義に生き、仁に生きた生き様」を感じ取っていただければと思います。

▶期間 1月3日(火)～3月12日(日)

【記念行事】

日時：2月5日(日)午後1時半から3時

内容：記念講演会「細野冉兵衛と天童一揆」

場所：歴史博物館研修施設(旧歩崎公園ビジターセンター)

※展示解説書と先人マンガシリーズ3「細野冉兵衛と天童一揆」を刊行いたします。特別展の見学の際にご購入いただければ幸いです。

【3階…郷土のあゆみ】
江戸時代に稲吉宿で使用された籠を展示しています。時代劇で良く見かける最も一般的な籠で、内部は意外と窮屈でした。しかし両側に窓があつ



「しん」を傷めないように工夫された刃の間隔や深い田んぼでも使いやすいように柄を短くしている点が特徴です。その他、暮らしを支えてきた民俗資料が数多く展示されており、本市の昔の暮らしが学習できます。



帆引き船展示施設では現敷地内の「帆引き船展示施設」では現

【4階…水とみどりの霞ヶ浦】
360度の眺望が楽しめる展望台です。霞ヶ浦の絶景をはじめ、牛久大仏、県庁などが見えます。冬には夕焼けに映える富士山を見ることができ、なご四季折々の景色が楽しめます。

